

本州より獲たる刺沫吹科の 新種に就て

加藤 正世

[Notes on a new Machaerotid from Honshiu.

By Masayo Kato]

刺沫吹科 (Machaerotidae) は元沫吹蟲科 (Cercopidae)* の一亞科として取扱はれたるものなれども、形態上著しき特徴あり且若蟲は石灰質の管を造りてその中に生活する等甚だ相異の點多きを以て、現在にては別科として獨立せしめらるるに至れり。本科に屬する昆蟲は總て熱帶的にして、我が内地より發見せられたるは極めて興味ある問題なり。猶本科にして本州に産するもの他に *Hindoloides* なる一屬あり、京都地方に比較的普通に産する昆蟲なるが、同様 Oriental region の系統に屬す。本種に關しては別に記載すべし。

Genus *Machaerota* Burmeister

1835. *Machaerota*, Burm. Handb. Ent. ii, 1, p. 123.

1868. *Narnia*, Walk. Journ. Linn. Soc., Zool. x, p. 192.

Genotype: *Machaerota ensifera* Burm. From India and Philippines.

Distribution: Oriental, Malayan, and Australasian Regions.

Machaerota takeuchii sp. nov.

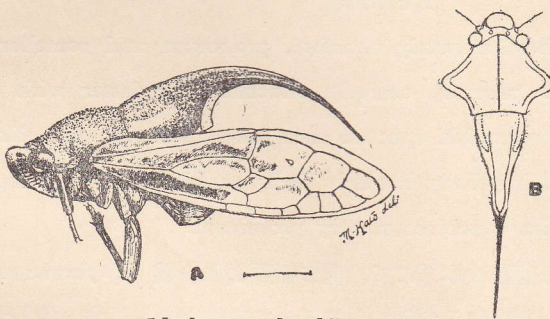
タケウチトゲアワフキ

♀、體は黒色、光澤を帯び粗き點刻を密布す。頭部は幅狭く、略々前胸背の半に等し、額は著しく膨起す、前面より見る時は卵形を呈し、點刻を缺

* 沫吹蟲科は從來の亞科を總て科に引き上げ、現在にては superfamily Cercopioidea の下に、Machaerotidae, Aphrophoridae, Cercopidae 及び Clastopteridae の四科を屬せしむ。第四の科は Neotropical region に分布す。

きて滑澤なるも、兩側は短かき銀毛を具ふる數條の平行せる横溝を具ふ、頭頂は甚だ短かく、額頂の約 $\frac{1}{3}$ 、淡褐色の單眼を具ふ、單眼間の距離は複眼より一側の單眼に至る距離よりも僅かに廣し、複眼は暗褐色、比較的大形、頭部に於ける點刻は胸背上に比して微細なり。

前胸背は甚だ大にして側縁は鋭角を爲して突出し、その周縁は細く扁平なり、前縁は鈍角状に突出し、後縁は甚だ僅かに剝らる、前胸背の長さは側縁角間の幅の約 $\frac{1}{2}$ 等にし、中央部は龜背狀に膨起すれども前方は中央の縱稜を境として兩



Machorota takeuchii sp. nov.

A. 側面圖. B. 頭部・前胸背及び稜狀部背面圖.

側に斜面狀に傾斜す、從て此の部分の縱稜は甚だ顯著なれども後半部に於ては不明瞭なり、又側縁角上には甚だ短かき横稜を

具ふ。

稜狀部 (scutellum) は著しく畸形にして弧狀を呈して下方に彎曲す、外觀上楔狀部と棘狀部とを區別す。前者は前胸背よりも少しく長く、背側は基半部平坦に後半部は少しく縦に剝られ、その兩縁は鋭き稜を成す、中央に縱隆起線を具ふるも極めて不明瞭なり、兩側面の縱紋及び後縁(側面より見て)の双狀を爲せる部分は黄白色を呈す。棘狀部は點刻を缺き側扁、楔狀部との接合點の兩側に短かき縦溝を具へ、その基部に黄白色の一小圓紋を裝ふ、末端は前翅の外縁、前角より約 $\frac{1}{3}$ の點に達す。

體下は黒色、銀色の微毛を裝ふ、肢は光澤ある黒褐色、後腿節は極めて發達し、跳躍に適す。腹部は短かく、末端は前翅の内縁角に達す、基半部に於ける側縁は甚だ擴大し、葉狀を呈して下方に延長す。

前翅は美麗なる琥珀色、透明、甚だ光澤あり、翅脈は1Aを除きては

著しく突起し、従つて各間室は深く凹陷す、間室の翅質は平滑なれども外縁 (marginal membrane) に並行せる數多の横皺を具ふ。脈相は型的なり。後翅は透明、臀室は暗色を帶ぶ、翅脈は暗黄色にして2個の翅端室を具ふ。

Length incl. tegm. 8 mm.; breadth between lateral angles 3 mm.

Hab.—Honshiu (Mt. Ryozen, Ômi. Collected by Mr. K. Takeuchi, v. 23, 1928.).

Type No. 172.

Résumé

Uniformly black; head minutely punctate, pronotum and scutellum (excluding sable-like process) coarsely punctate, the latter with a yellowish narrow, longitudinal spot on each side, posterior blade-like edge of the same yellow; body beneath black; tegmina shining, amber coloured, hyaline, veins concolorous, very prominent.

附記一本屬に關する昆蟲は本邦にては他に臺灣より一種 *M. formosana* Kato トグアワフキ* を獲たるのみにして極めて珍種なりと信ず。擱筆するに際し標本を提供せられたる竹内吉藏氏に對し深謝の意を表す。

(III. 31. 1931)

* 1928, Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, xviii, p. 35, pl. ii, fig. 6.